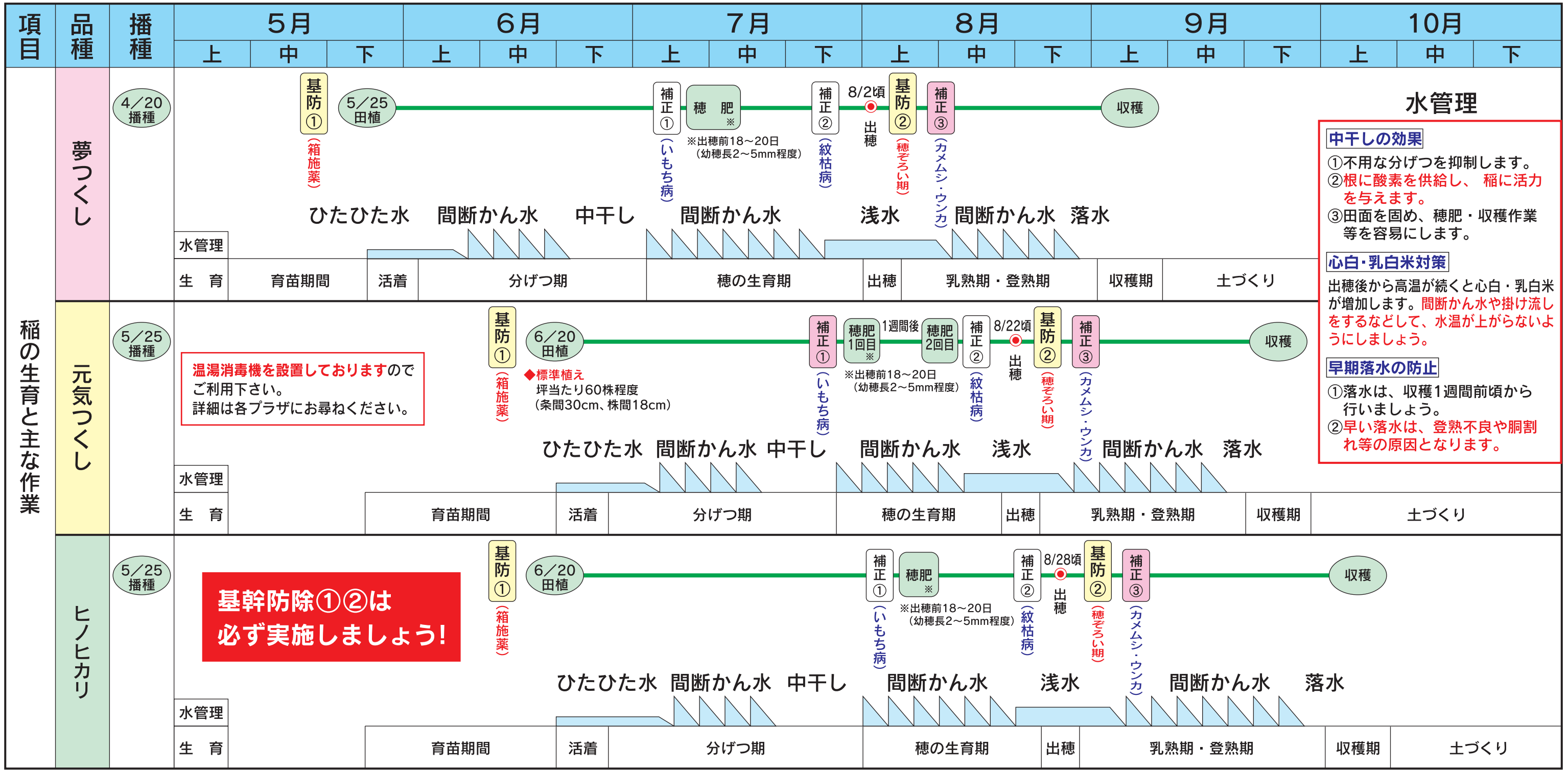


暑さに負けない稲づくりを目指しましょう!!

消費者が求めている安全・安心でおいしい米づくりをしよう!!



土づくり

●健全な土、丈夫な根づくりのために、土壌診断に基づき適切な土壌改良材を施用しましょう。(kg/10a)

資材名	施用量	施肥時期	効果
けい酸加里	40	4月~5月	登熟向上・微量元素供給・根張り向上
オイスターミネラル	60	年内~代かき前	通気性・保水性・保肥性の向上
石灰窒素	20	9月~12月	稲わらの腐熟促進

※レンゲ・菜の花等を活用し良い土を作りましょう。

施肥基準

◎基肥+穂肥の場合 (kg/10a)

品種名	肥料銘柄	施用量		穂肥の目安		成分量
		基肥	穂肥1・2	施用時期	幼穂長	
夢つくし	基肥 くみあい化成ベスト444 (14-14-14)	30	-	出穂前 18~20日	2~5mm 程度	N6.6 P4.2 K6.6
	穂肥 NK化成2号(16-0-16)	-	15			
元気つくし	基肥 くみあい化成ベスト444	35	-	出穂前 18~20日	2~5mm 程度	N7.9~8.1 P4.9 K7.3~8.1
	穂肥 (どちらか選択) NK化成2号	-	10			
	エムコート206ワンショット (20-0-16)	-	15			
ヒノヒカリ	基肥 くみあい化成ベスト444	35	-	出穂前 18~20日	2~5mm 程度	N7.3~7.5 P4.9 K7.0~7.3
	穂肥 (どちらか選択) NK化成2号	-	15			
	エムコート206ワンショット	-	13			

- 側条施肥の場合、基肥を上記の施用量より2割程度減らします。
- 夢つくし・ヒノヒカリについては穂肥をしても葉色が出ない場合、2回目の穂肥を施用する。施用する際、NK化成2号の場合は10kg/10a程度散布する。詳細は営農指導員にお尋ね下さい。
- 元気つくしの2回目穂肥は1回目施用から7日後頃に施用する。

◎基肥一回全量施肥の場合 (kg/10a)

品種名	肥料銘柄	施用量		成分量
		全層	側条	
夢つくし (90日タイプ)	エムコート2000 (20-10-10)	33	30	N6.6 P3.3 K3.3
元気つくし	LP2000 (20-10-10)	40	35	N8.0 P4.0 K4.0
ヒノヒカリ	LP2000 (20-10-10)	35	32	N7.0 P3.5 K3.5



●肥料、農薬の注文はJAへ!!

基幹防除 (病害虫)

(農薬の飛散に注意しましょう)

(10a当り)

番号	対象病害虫	防除体系	防除適期	
基防①	いもち病 ウンカ類 コブノメイガ イネミズゾウムシ	防人箱粒剤 50g/箱	移植3日前~移植当日	
		スクラム箱粒剤 50g/箱 (紋枯病対策)		
基防②	いもち病 紋枯病 ウンカ類 カメムシ類	粉剤体系 ダブルカットバリアドレポン 粉剤3DL 3kg	液剤体系 (希釈水量) ダブルカットフロアブル 140ml (140倍) モンセレンフロアブル 93ml (140倍) エクシードフロアブル 70ml (140倍)	粒剤体系 ゴウケツモンスター 粒剤 3kg 出穂5日前まで ※イネカメムシに対しては出穂後に散布して下さい。

※近年ウンカ・カメムシ・紋枯病の被害が増えています。基幹防除は必ず実施しましょう。
 ※イネカメムシは2回防除が基本です。

補正防除

(10a当り)

番号	対象病害虫	防除体系	防除適期
-	スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ)	粉剤体系 液剤体系 (希釈水量) 粒剤体系	スクミノン 1~4kg 移植直後~20日以内
補正①	いもち病	ノンプラス粉剤DL 3kg ダブルカットフロアブル 140ml (140倍)	コラトップジャンボP 10~13パック 発生初期 粒剤は、出穂20日~10日前に散布する。
補正②	紋枯病	モンセレン粉剤DL 3kg モンセレンフロアブル 93ml (140倍)	モンガリット粒剤 3kg 出穂10日前頃に散布する。 粒剤は、収穫45日前までに散布する。
補正③	カメムシ類、ウンカ類	エクシード粉剤DL 3kg エクシードフロアブル 70ml (140倍)	スタークル粒剤 3kg スタークル豆つぶ 250g カメムシ類は「基防②」の1週間後に散布。 イネカメムシに対しては必ず実施しましょう。

雑草防除

◎初・中期除草剤

(10a当り)

剤	除草剤名	成分数	使用時期	使用方法	使用上の注意	
粒剤	キマリテ1キロ粒剤	2成分	移植時~ノビエ3.0葉期	1kg	・代かきはいないに行い、田面を均平にする。 ・散布時はやや深めに湛水し、田面が露出しない状態で散布する。 ・豆つぶ剤、フロアブル剤、ジャンボ剤は漏水田・軟弱苗・浅植えでは使用を避ける。 ・ジャンボ剤は水深を5cm以上に保ち、水田に均等に投げ込む。 ・ジャンボタニシ多発田では、水管理に注意する。	
	エンペラー1キロ粒剤	3成分	移植時~ノビエ3.0葉期			
	ラオウ1キロ粒剤	4成分	移植時~ノビエ2.5葉期			
豆つぶ剤	ガンガン豆つぶ250	2成分	移植後3日~ノビエ2.5葉期	250g		
フロアブル	ラオウフロアブル	4成分	移植時~ノビエ2.5葉期	500ml		
ジャンボ剤	(注)プライオリティジャンボ	2成分	移植直後~ノビエ3.5葉期	10パック		
	ウルティモZジャンボ	3成分	移植後5日~ノビエ3.0葉期			
	ラオウジャンボ	4成分	移植直後~ノビエ2.5葉期			

(注) プライオリティジャンボは後作物のなす・たまねぎ・さやえんどうに薬害の恐れがありますのでご注意ください。
 ●除草効果を高めるために散布時期を守り、散布後1週間は湛水状態を保ち、掛け流しはしない。
 ●同じ除草剤を連年使用すると、特定の雑草が増えるので、他の除草剤を使用する。

◎中・後期除草剤

(10a当り)

対象雑草	除草剤名	成分数	使用時期	使用方法	使用上の注意
ノビエ葉	クリンチャーバスME液剤	2成分	移植後15日~ノビエ5葉期 (但し、収穫50日前まで)	水量 100倍 薬量 1,000ml	・クリンチャーバスME液剤は、散布1~2日前に落水し、雑草の茎葉によく付着するように散布すること。また、高温時散布は避けて、夕方に散布を行う。
カヤツリグサ	ワイドショット1キロ粒剤	2成分	移植後15日~ノビエ4葉期 (但し、収穫45日前まで)	1kg 湛水散布	・キシュウスズメノヒエが多い時は、クリンチャー-EWを使用する。

●JA米の要件を満たさない米穀は、農業倉庫へ一般米として出荷して下さい。

●栽培管理記録を必ず記載し提出しましょう。